

小児感染症発生状況

第50週(12月12日～12月18日)の集計

コメント

○インフルエンザは、小児科定点あたり13.1人で、先週(第49週 定点あたり5.9人)に比べ、倍増しました。なお、インフルエンザ定点あたりの患者報告数(八王子市内 小児科11ヶ所 内科7ヶ所)も、10.4人となっており、小児科定点、インフルエンザ定点、いずれも注意報レベル(開始基準値 定点あたり10.人)となりました。

● <参考> [「2016年11月25日 インフルエンザの発生状況について\(流行シーズン入り\)」\(厚生労働省\)](#) (外部リンク)

● <参考> [「インフルエンザの流行状況\(東京都 2016-2017年シーズン\)」\(東京都感染症情報センター\)](#) (外部リンク)

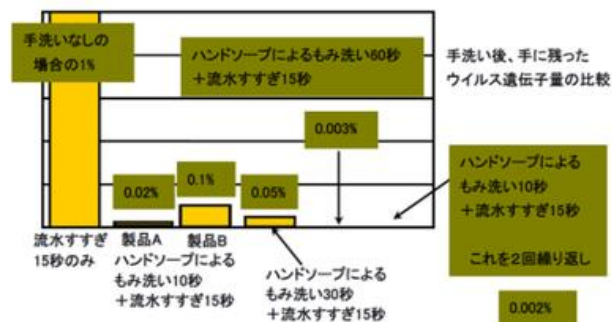
○感染性胃腸炎は、定点あたり32.3人で、先週(第49週 定点あたり35.5人)に比べ、わずかに減少しましたが、警報レベルが続いています。

● <参考> [「感染症ひとくち情報 感染性胃腸炎\(ノロウイルス等\)にご注意ください」\(東京都感染症情報センター\)](#) (外部リンク)

○いずれの疾患も、感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。

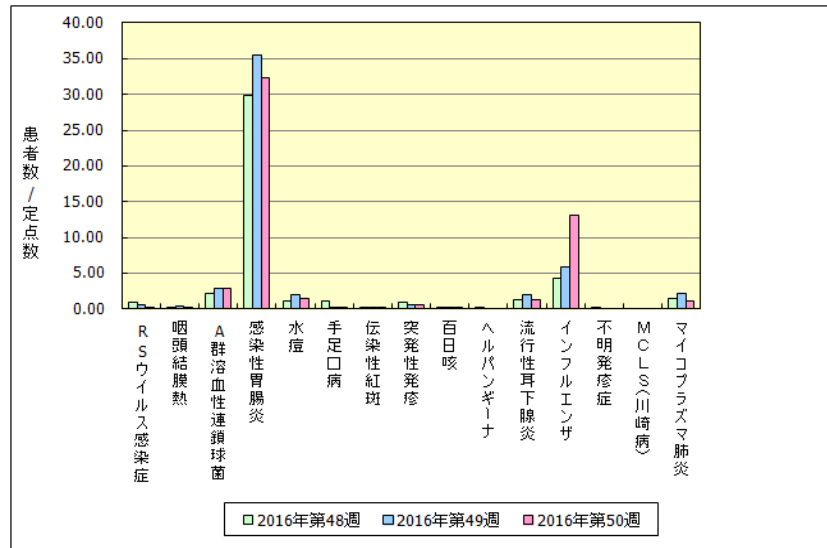
○効果的な手洗いの方法 「石けんを十分泡立てた後すすぐ」を2回繰り返すと効果的です。

手洗いの効果



出典元：東京都健康安全研究センター 「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」

○ 第50週の発生状



第50週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第45週	2016年 第46週	2016年 第47週	2016年 第48週	2016年 第49週	2016年 第50週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	17↓	14↓	12↓	14↑	7↓	3↓	547
咽頭結膜熱	1→	1→	1→	3↑	5↑	2↓	341
A群溶血性連鎖球菌	29↑	31↑	24↓	31↑	40↑	40→	1652
感染性胃腸炎	236↑	288↑	306↑	417↑	497↑	452↓	7958
水痘	23↑	7↓	17↑	15↓	27↑	21↓	379
手足口病	11↑	24↑	7↓	16↑	4↓	4→	380
伝染性紅斑	0→	1↑	2↑	4↑	2↓	2→	153
突発性発疹	7↑	7→	3↓	12↑	8↓	7↓	359
百日咳	1↓	0↓	0→	1↑	2↑	1↓	46
ヘルパンギーナ	3↓	3→	2↓	1↓	0↓	0→	1057
流行性耳下腺炎	21↓	20↓	19↓	17↓	28↑	17↓	1076
インフルエンザ	22↑	29↑	22↓	60↑	83↑	183↑	7355
不明発疹症	2↑	2→	0↓	1↑	0↓	0→	80
MCLS(川崎病)	0→	0→	0→	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	43↑	18↓	15↓	19↑	30↑	15↓	765

第50週疾患毎発生状況表

第50週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	MCLS(川崎病)	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
～11ヶ月	2	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	0	1	1	44	1	4	0	4	0	0	2	3	0	0	0
2歳	1	1	2	29	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2
3歳	0	0	10	51	3	0	0	0	0	0	1	8	0	0	2
4歳	0	0	4	58	2	0	1	1	0	0	1	9	0	0	2
5歳	0	0	3	58	4	0	1	0	0	0	3	6	0	0	2
6歳	0	0	3	46	3	0	0	0	0	0	0	11	0	0	1
7歳	0	0	6	33	2	0	0	0	0	0	2	24	0	0	0
8歳	0	0	6	20	0	0	0	0	0	0	2	20	0	0	1
9歳	0	0	1	28	4	0	0	0	0	0	0	13	0	0	2
10～14歳	0	0	3	44	1	0	0	0	0	0	5	55	0	0	3
10～12歳												40			
13～14歳												15			
15～19歳	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	8	0	0	0
20歳以上	0	0	1	15	0	0	0	0	1	0	0	23	0	0	0
合計	3	2	40	452	21	4	2	7	1	0	17	183	0	0	15

第50週年齢別発生状況表